

STAFF

INTERVIEW

若手職員にインタビュー

今回のインタビューは、センター主任室の

Y・Aさん

主任行政相談官室で、行政相談対応などの業務を行っています。

そんなY・Aさんに、日々の業務で感じるやりがいや組織の魅力などについて伺いました。

暮らしの『困った』を聞き、行政の改善につなげる

現在は、国民の方から行政に関するお困りごとを受け付け、担当する行政機関とは異なる立場から、必要に応じて関係行政機関にあっせんを行い、その解決や実現の促進を図るとともに、行政の制度・運営の改善に生かす行政相談という業務を行っています。総務省の行政相談では、幅広い分野の相談を受け付けており、室内の職員と積極的に意見交換を行いながら、知識を補い、適切な対応ができるよう取り組んでいます。

Q1

当局を選んだ理由を教えてください。

国民と直接関わりながら、行政を幅広く見渡す仕事に魅力を感じ、志望しました。行政相談で国民の声を直接聴き、調査業務では四国全体の行政を横断的に捉え、多様な分野の改善に関われる点に惹かれました。

Q2

入局1年目はどんな業務をしましたか？

1年目は研修配属として、調査業務と相談業務の両方を経験しました。調査業務では担当項目を持ち、関係機関へのヒアリングを行い、相談業務では実際に国民の方からの相談対応に携わるなど、一人の担当者として業務に従事しました。

Q3

職場の雰囲気教えてください。

職場はコミュニケーションが活発で、相談や意見を言いやすい雰囲気です。初めて扱う分野の相談であっても、気軽に周囲の職員に相談できるため、課題を一人で抱え込むことなく、早い段階から対応を検討することができています。

Q4

当局を志望する方へ一言お願いします！

専門知識や経験がなくても、周囲に相談しながら成長できる職場です。当局の役割や仕事に少しでも関心をお持ちの方は、ぜひ説明会にご参加ください。



PROFILE

Y・A

配属：高知行政監視行政相談センター
主任行政相談官室

●採用年次
令和7年4月採用

●これまでのキャリアパス
令和7年度：研修配属（OJT）
（評価監視部、首席行政相談官室）
令和8年度：主任行政相談官室



四国行政評価支局HP▲